

平成 28 年 5 月 14 日

平成 27 年度の主な事業報告

社会福祉法人清洞会

社会福祉事業

(特養養護老人ホーム (岐阜))

新規入居者 27 人、退居者 26 人、延利用者数は 31,043 人で利用率は 98.6%。前年度とほぼ同じ数字でした。施設の理念・方針に基づき、個々のニーズにあった施設サービス計画に沿って、利用者様の尊厳やプライバシーを尊重し、安心・安全で質の高いサービスの提供を目指して、各部署協力のもと、計画的・継続的な職員研修の実施や業務の効率化、充実した委員会運営、ご利用者の意向に沿った行事やクラブ活動の実施、ボランティアの積極的な受入などに取り組んできました。

(特別養護老人ホーム (愛知))

新規入居者 34 人、退居者 34 人、延利用者数は 32,321 人で利用率は 98.1%でした。「Fit for you : あなたにフィットする介護サービスを・・・」の心を大切にケア・サービスの向上に、職員一同、一丸となって努めました。毎月広報誌を発行するなど、利用者様や家族様に閲覧していただける環境を整え、ご理解いただきやすい情報提供を積極的に行いました。

(短期入所生活介護 (岐阜))

日中は延べ 3,451 人、1 日平均 9.4 人、夜間は延べ 2,958 人、1 日平均 8.1 人でした。在宅介護を支援する施設として、利用者様や家族様が必要なときに安心してサービスを利用していただけよう努めました。ご利用前の面接業務を複数の職員が対応し、スピード感をもった対応に重点を置きました。

(短期入所生活介護 (愛知))

日中は延べ 4,084 人、1 日平均 11.1 人、夜間は延べ 3,823 人、1 日平均 10.4 人でした。利用者確保に向けて、受入地域を限定せず、市外を含め居宅支援事業所や医療機関への渉外活動を定期的に行い、利用者様の紹介を受けるよう努めました。また、利用者様の処遇向上に繋がる会議等を実施するなど、現場と相談部との連携を密に図り、利用満足度の向上に努めました。

(通所介護)

延利用者数は4,911人で前年度の5,301人と比較し390人減少しました。個別での活動として計算問題や漢字問題、色塗り等の脳トレ、貼り絵や作品作りなどの趣味活動を継続して行いました。また、多種多様なレクリエーションや季節行事、カラオケ大会、映画鑑賞会を行うことで利用者様が楽しく過ごしていただけるよう努めました。機能訓練は、理学療法士が中心となって計画を作成、利用者様一人ひとりに合わせて実施しました。

(軽費老人ホーム)

「閉じこもり」を予防し、「QOL（生活の質）の充実」「ADL（日常生活動作）の自立」を目標に支援してきました。社会との関わりを少しでも増やしつつ、生活の不自由なところを様々な工夫をすることで補うことが出来るよう、関係者と協力しサービス向上に努めました。施設での限られた場所だけの生活ではなく、外出やショッピングを交えて社会との繋がりを持っていただき、外出が困難な方にはボランティアさんと一緒に時間を過ごしてもらおうよう努めました。

(居宅介護支援)

ケアプラン件数は前年度月平均109件に対し、今年度月平均は112件で3件程度増加しました。地域包括支援センターからご利用者の紹介を多く受けることができたことが大きな理由です。高齢化が進行し在宅介護の必要性が高まり重度者、医療依存度の高い方、一人暮らし、高齢夫婦世帯、認知症など様々なご利用者が増えており、個別的なケアプランをつくることの難しさも感じてきました。

(小規模多機能型居宅介護)

施設理念の特徴である「住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう支援する」ことを目標として各種サービスや機能訓練を提供してきました。この理念を職員全員が共有することで職員のチームワークを強固のものとし、訪問・通所・宿泊のサービスを個々のご利用者の要望に併せて提供しました。

公益事業

(地域包括支援)

各務原市地域包括支援センター事業基本方針・重点目標に沿って計画し、実施に努めました。今年度は227件の新規相談があり、ミーティングを通してセンター内での共有を図り支援を行いました。要支援高齢者台帳に基づく実態把握は、50件の目標に対して46件でした。虐待疑い相談6件（虐待認定0件）、権利擁護に関する相談1件でした。虐待相談の対応は、市高齢福祉課と連携を密にとりながら支援を行いました。